

2023 July

Vol.85

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



「下瀬美術館」

■ CONTENTS ■

■ 肝臓内科紹介…………… 2	■ ひこばえ通信 Vol.11…………… 9
■ MRI装置バージョンアップについて…………… 4	■ 患者図書室から……………10
■ 特定行為研修入講式の開催について…………… 6	■ 栄養士のつづやき®……………11
■ 医療安全管理研修…………… 7	■ 地域医療連携室実績報告……………11
■ 看護の日によるイベント実施について…………… 8	■ 外来診療担当医表……………12

病院理念「患者さんと共に」

■ 基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■ 「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」

肝臓内科 紹介

肝臓内科 児玉英章

当院の肝臓内科では文字通り肝臓の病気を中心に診療していますが、最近では肝障害、黄疸を伴うことが多い胆嚢や胆管、膵臓の病気も診る機会が増えています。肝臓の病気の特徴としては自覚症状が無く健康診断や人間ドックで肝障害や脂肪肝等の異常を指摘されることが多いことが挙げられます。今年6月に奈良で開催された日本肝臓学会総会で肝疾患の早期発見・早期治療に繋げることを目的としてALT>30であった場合に医療機関への受診を推奨する奈良宣言2023が発表されました。食欲低下、全身倦怠感、黄疸等の自覚症状がなくても肝障害を指摘された際には何らかの病気が隠れていることがありますので医療機関を受診するようにしましょう。それでは当科で扱っている疾患についてお話しします。



①脂肪性肝疾患



健診を受診した人の約30%に脂肪肝が認められることや日本人の約25%が非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）に罹患しているとの報告があり、ありふれた病気の1つといえます。2020年には脂肪肝に肥満、2型糖尿病、2種類以上の代謝異常（高血圧症、内臓脂肪蓄積、耐糖能異常、脂質異常症）のいずれかが併存している場合に代謝異常関連脂肪性肝疾患（MAFLD）と診断する新しい概念も提唱されました。肝硬変への進行や肝細胞癌の発症だけでなく心臓や脳の病気、肝臓以外の悪性腫瘍の発症リスクも報告されており、治療するとともに多岐にわたって経過観察することがとても重要な病気です。最近では当科で最も多く診ている疾患でもあり、肥満、2型糖尿病、脂肪肝を指摘されている方の受診を勧めます。

②ウイルス性肝炎（B型肝炎、C型肝炎）

血液検査のみで診断可能であり、B型肝炎は治療が必要な方でも内服薬で肝炎の進行が抑えられ、特にC型肝炎は内服薬のみで完治する時代になりました。B型肝炎、C型肝炎に感染した状態を放置すると非感染者よりも肝細胞癌の発症リスクが高いことが報告されていますのでB型肝炎、C型肝炎を指摘された際には早めに受診しましょう。

③自己免疫性肝疾患（自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎）

慢性肝炎のなかで時々みられる疾患であり、日本における肝硬変における成因別頻度（2018年）でも自己免疫性肝炎2.7%、原発性胆汁性胆管炎3.3%と頻度は高くありませんが、一方で自己免疫性肝炎のうち20%程度は急性で発症するとの報告もあります。当科ではこれらの疾患が疑われる場合には積極的に経皮的肝生検で診断して適切な治療を行っています。

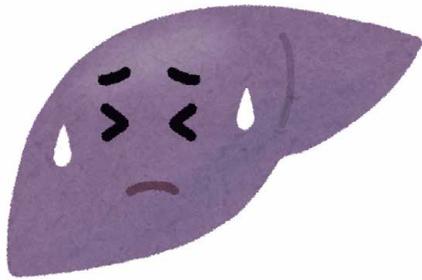


④肝硬変

以前より血液検査で肝障害や血小板数低下を指摘されているにもかかわらず、アルコール摂取量を減らせない人や肥満や生活習慣病の治療歴が長い人のうち下肢のむくみやおなかの張り、かゆみ、こむら返り等の自覚症状が続く場合は肝硬変に進行している可能性があります。それらの症状を自覚する場合には当科への受診を勧めます。また当科では肝硬変の合併症（食道静脈瘤、難治性腹水等）に対しても積極的に治療を行っています。



⑤肝細胞癌



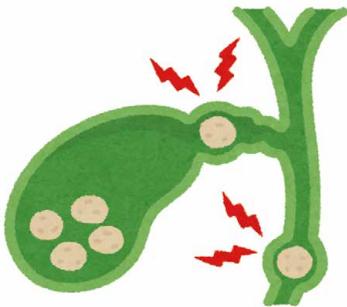
肝細胞癌と診断された場合には肝予備能や肝細胞癌の進行度に応じて局所治療、カテーテル治療の他、外科と連携して肝切除、また化学療法（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤）等も積極的に行っています。尚、④にある以前より血液検査で肝障害や血小板数低下を指摘されている人、アルコールをほぼ毎日摂取する人、肥満や生活習慣病の治療歴が長い人は健康診断や人間ドックで時々腹部超音波検査を受けるようにしましょう。

⑥その他の肝疾患

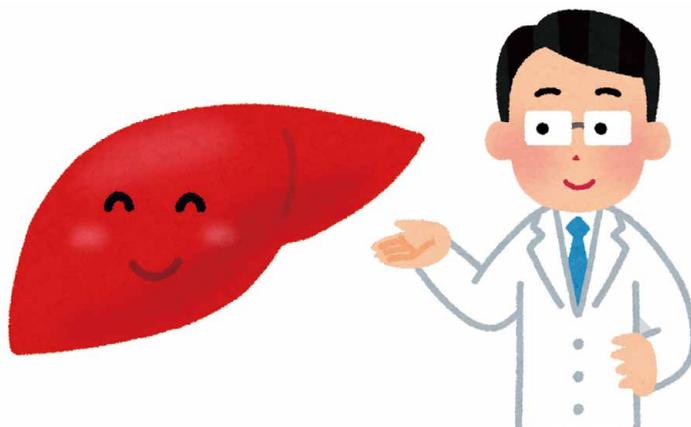
その他当科では肝膿瘍に対するドレナージ治療、治療適応のある肝嚢胞（出血、感染、有症状）に対する硬化術も行っています。また発熱、食欲不振、全身倦怠感、黄疸等自覚症状のある肝障害に対しても対応可能ですのでそのような場合で困ったことがあれば当科にご相談下さい。



⑦胆道疾患、膵疾患



⑥のような自覚症状のある肝障害では特に高齢の方では精査していくと胆石症や胆道腫瘍、膵腫瘍に起因することを多く経験しています。それらの診断治療も当院で可能な範囲で対応しており、当院消化器内科の協力も得ながら総胆管結石に対して内視鏡的胆道結石除去術、悪性胆道狭窄による閉塞性黄疸に対して内視鏡的胆道ステント留置術を行っています。また必要があれば経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）、経皮経肝胆道ドレナージ（PTCD）も行っています。



1.5T MRI装置バージョンアップのご紹介

放射線科 智原 大 郎

当院では2023年5月にMRI装置のバージョンアップを実施しました。

今回のバージョンアップによりMAGNETOM Avanto FITに生まれ変わり、ハードウェアを一新しました（Siemens社の1.5T MRI装置の最新鋭）。

以前よりも患者さんに優しい、より良い医療サービスの提供が可能になりましたのでご紹介します。



○受信コイルの性能が大幅に向上、最新の撮影技術も使用可能に

当院では最新コイルを導入し、高画質化や短時間化が可能になりました。

また最新の撮影技術が使用可能になり、撮影時間の短縮が可能になりました。

○最新のソフトウェアを追加導入（GRASP-VIBE、QISS）

「GRASP-VIBE」

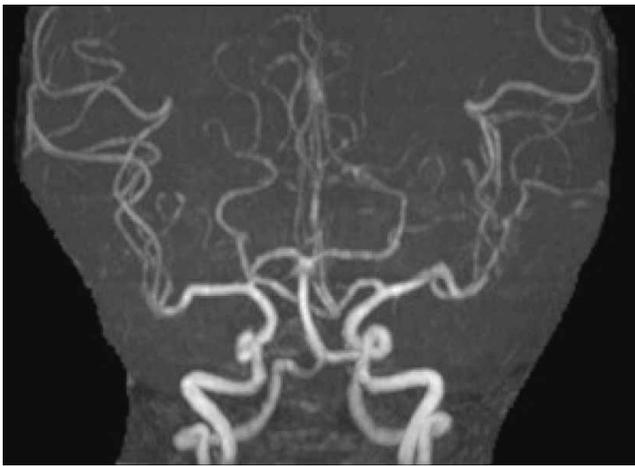
上腹部の造影検査で使用するシーケンスです。息止めの難しい患者様でも息止め無し（自由呼吸）で診断可能な画質の検査が可能になりました。

「QISS」

造影剤を使用しない非造影の全下肢動脈の撮影シーケンスです。

短時間撮影（全下肢で15分程度）で、下肢の主幹動脈の描出が可能です。

MRI検査のご予約は当院の地域連携室にご連絡ください。



旧装置の頭部MRA画像
 撮影時間：5分50秒
 スライス厚：0.7mm



新装置の頭部MRA画像
 撮影時間：4分10秒
 スライス厚：0.6mm

末梢血管の描出が向上し、撮像時間も短縮しました



新装置の膝画像
 撮影時間：2分20秒
 スライス厚：3mm

撮影時間を延長せずにより細かく、撮影可能になりました



新装置の腰椎画像
 撮影時間：2分36秒
 スライス厚：0.6mm
 画像枚数：160枚
 ギャップ無し3D収集

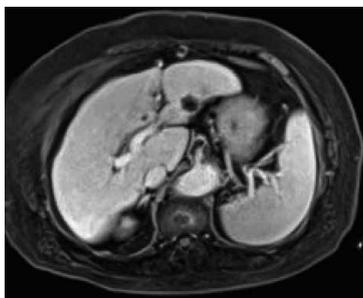
Thinスライスで撮影することで、CTの様に他の断面を再構成可能です (MPR処理可能)。

GRASP-VIBE

新装置の上腹部画像 造影剤使用



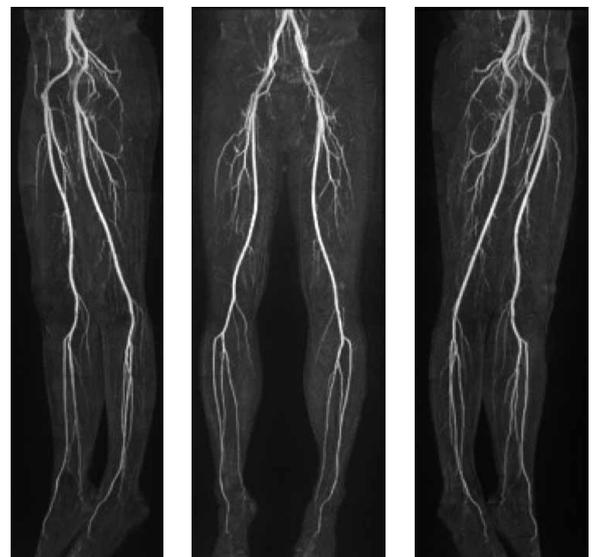
動脈相



平衡相

自由呼吸 (息止め無し)

QISS:下肢動脈MRA (非造影)



令和5年度特定行為研修入講式を開催しました



研修生挨拶

令和3年6月に在宅・慢性期領域パッケージの特定行為研修センターを開講し、院内はもとより院外からも広く受講生を迎え入れ、令和4年度までに6名の特定行為研修修了生を送り出しました。その後、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル）関連（以後PICC）の需要が予想以上に多いことから、改めて特定行為実施項目を検討しその結果、令和5年は在宅・慢性期領域パッケージに加えPICC

の1区分を開始することとなりました。

6月1日から12月27日の7ヶ月間の、在宅・慢性期領域パッケージには3名の受講生が入講しました。

「看護の視点」「診療の補助行為の視点」「社会的背景を知る視点」を通じて、「みる視点」を養い、人間性を重視しつつ高度かつ専門的な質の高い医療を提供できる特定行為看護師の育成を図るとともに、特定行為を実践する看護師の育成と支援をしていきたいと思っております。



入講証授与



特定行為研修入講式

特定行為研修受講生に期待すること

東2病棟看護師長 甲斐里美

この度、当病棟よりスタッフ1名が、令和5年度広島西医療センター特定行為研修を受講することとなりました。受講期間中は他のスタッフで病棟を守り、専門的な知識及び技術を修得し、アセスメント能力を向上させて、現場で貢献してくれることに期待しています。当病棟は外科系で手術を受ける患者が多く、更に肺炎等の急性期の緊急入院にも対応しており、是非一般病棟にて、術後疼痛管理や栄養サポート等に力を発揮してもらいたいと考え研修に送り出しました。

特定行為研修を受講した動機

東2病棟看護師 真鍋 貴広

私は、新卒で重症心身障害児（者）病棟、その後外科系混合病棟を経験しました。重症心身障害児（者）病棟では、定期的に医師による気管カニューレ、胃ろうカテーテル交換が行われており、交換日には入浴時間など患者さんのスケジュールを変更している現状がありました。また、外科系混合病棟では医師へ指示を仰ぐ際に報告が上手く伝わらず、患者さんを待たせてしまうことがありました。患者さんの生活リズムに合わせた援助、根拠に基づいたアセスメント能力を習得し医師など多職種連携を円滑に進めて、患者ケアに活かしたいと思い、看護師特定行為研修を受講したいと考えました。

医療安全管理研修開催

医療安全管理室

医療安全管理室より「コミュニケーションの重要性が学べる」を課題として令和5年6月20日(火)全職員対象に研修を開催しました。日々、安全な医療の提供にむけて、様々な対策や検討を行なっています。その中で安心・安全な医療には職員同士、また患者様・ご家族との信頼関係の構築が必須となります。コミュニケーションを通して、お互いの価値観や考えを知り、信頼関係を築いていくことができます。そこで今回、講師として元お笑い芸人のWまことのお二人をお迎えし研修を実施しました。流石プロでした！1時間の研修が笑顔と活気にあふれ、元気になりました。笑いを通して、コミュニケーションが、今なぜ必要なのか？具体的にどのような行動をとればいいのか？自分達に何ができるのか？を教えてくださいました。楽しいだけでなく、元気をもらい、明日からの活力になった研修でした。今回の研修のように、様々な職種と一緒に研修を行い、学ぶ場を今後も作っていきたいと考えます。



看護の日のイベントを実施して

地域医療連携室看護師長 安部 亜由美

看護の日は5月12日フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ1990年に制定されました。広島西医療センターに入院・来院される方々に看護について知っていただく機会として、「看護の心をみんなの心に」をテーマに、4月28日～5月12日の期間、外来フロアに病棟を紹介するポスターや認定看護師・特定行為看護師・診療看護師の活動を紹介します。ポスターには、それぞれの病棟で「大切にしている看護」「看護の実践の場面」を表現しました。立ち止まって熱心に見てくださる患者さんや、特別支援学校の先生方、病院職員の姿も見られ、より多くの方に知っていただく機会となりました。また、それぞれの病棟では、看護の日の当日に「私たちからの思いを書いたメッセージカードです」と声をかけながら手渡しました。外来では当日来院された患者さんやご家族の方へ言葉を添えて手渡しました。患者さんからは、「ありがとう」と言葉をかけてくださりとてもうれしく思いました。また、患者さんやご家族とかかわる言葉で癒された瞬間でもありました。このイベントを通して、広島西医療センターの看護に関心を寄せていただき、また広島西医療センターをより身近に感じていただけたらうれしく思います。

今回、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行前のイベントであったため、規模を縮小して実施しましたが、今後は地域の皆様への健康維持、推進につながるイベントを計画していけたらと考えています。

ポスター紹介



5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に



ひこばえ通信 Vol.11

「宝石を頂く者たち」

統括診療部長 浅野 耕助

日増しに暑さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ツバメの子育ても一段落のようで、長く飛べない巣立ちした若ツバメが軒先に集まって翼を休めているのを見ると、なんだかほっこりしてしまう浅野です。

さて、前回まで2回にわたって、体色の美しい鳥や虫を紹介し、ゴリラまで引っ張り出してしまいましたが、それに懲りず今回も同じ路線を突き進みます！皆さんは宝石と聞いて何を一番に思い浮かべますか？

やはり多くの方がダイヤモンドではないかと思えます。このダイヤモンドを背に頂く動物を二つ紹介します。苦手な方には申し訳ございませんが、二つとも爬虫類です。

一つは北米の砂漠地帯に生息する「ダイヤモンドガラガラヘビ」です。背中美しい菱形の文様から名付けられたようです。本邦のママシヤハブと同じ毒蛇ですが、脱皮の際の古い皮が尾の先端に傘状に残るため、威嚇で尾を震わせたとき鈴を鳴らすようにカラカラと響く様子から「ガラガラヘビ」なのです。視覚と聴覚からくる印象を組み合わせた命名、グッときますか？ ちなみにMLBのダイヤモンドボックスはガラガラヘビのことだそうです。トレードマークの“A”に菱形と毒蛇の頭部がデザインされています。



次はこれも北米の東海岸に生息する「ダイヤモンドバックテラピン」を紹介します。河口の海水が混ざる汽水域に生息するヌマガメでクスイガメとも呼ばれます。画像のように甲羅に美しい文様が並びます。甲羅以外の頭部や手足の模様も目を引き、世界で一番美しいカメと言われる所以です。現地では食用カメを「テラピン」といい、こちらではさしすめ「スポン」ですね。このカメ、汽水域でアサリなどの貝類を主食とするため、硬い貝殻を噛み砕くために口唇がアヒルの嘴のように厚く発達し、その真ん丸な黒目と相まって、爬虫類としては可愛らしい顔をしています。そのため今では食用ではなくペットとしての需要が大きくなっています。私も以前飼っていたのですが、冬季の不注意で昇天させてしまいました。またいつか巡り合いたいものです。



ダイヤモンドバックテラピン

では次回もお楽しみに。





患者図書室から



夏 おススメ！「からだにいい本」



本格的な夏の到来！疲れが出やすく、体調を崩しやすい時期。皆さまの体調管理に、下記の本をおススメします。



「スッキリした 朝に変わる 睡眠の本」

(梶本 修身/PHP エディタース・グループ)

睡眠は、量より質が大切。寝ても寝ても、疲れがとれない人に。



「絶対に休めない医師がやっている 最強の体調管理」

(大谷 義夫/日経 BP)

代わりのいないあなたへ。30年以上、病気知らずの名医が教えます。



「HEALTH RULES ヘルス・ルールズ」

(津川 友介/集英社)

病気のリスクを劇的に下げる健康習慣。



「体がバテない 食薬習慣」

(大久保 愛/ディスカヴァー・トゥエンティワン)

1週間に1つずつ。春夏秋冬、いつも調子がいい体！



「『毎日 疲れしない』にいいこと 超大全」

(工藤 孝文 監修/宝島社)

しつこい疲れがスーッと消える&疲れにくい体を作る健康習慣。



「病気になるしない 食う 寝る 養生」

(櫻井 大典/学研プラス)

“食べて寝る” のが最強の健康法。



「最高の 入浴法」

(早坂 信哉/大和書房)

お風呂研究20年、3万人を調査した医者が考案。



「イラストでやさしく解説！『脱水症』と『経口補水液』のすべてがわかる本」

(谷口 英喜/日本医療企画)

脱水症の正しい知識と対応法が身につく一冊。



「すっぴん肌が好きになる 肌トラブル大全」

(小林 智子/WAVE 出版)

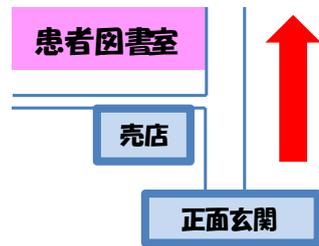
この1冊で、あらゆる肌の悩みを解決！



「におわない人の習慣 最新版 加齢臭読本」

(奈良 巧/草思社)

大人の男の必須エチケット。



開館時間 10時～15時
 土日・祝日・年末年始・第2月曜日は休館
 ※第2月曜日が祝日の場合は、第4月曜日が休館となります
 場所 正面玄関から入って直進 70m 先



夏バテ対策

夏バテは高温多湿の環境の中で、体温を一定に保とうと自律神経がフル稼働することで疲弊し、自律神経の乱れを引き起こすことが原因と考えられています。主な自覚症状としては、「疲れがとれない」「食欲がなくなる」「よく眠れない」などがあります。

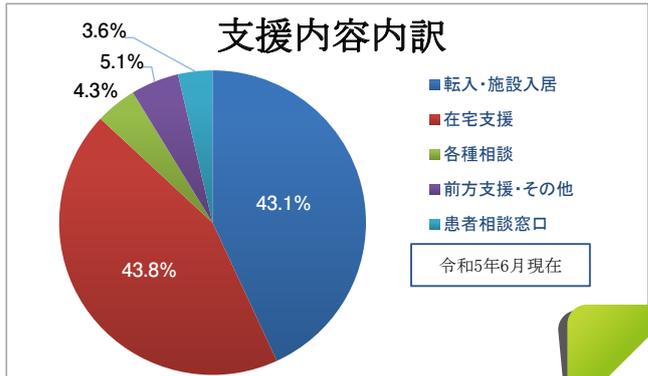
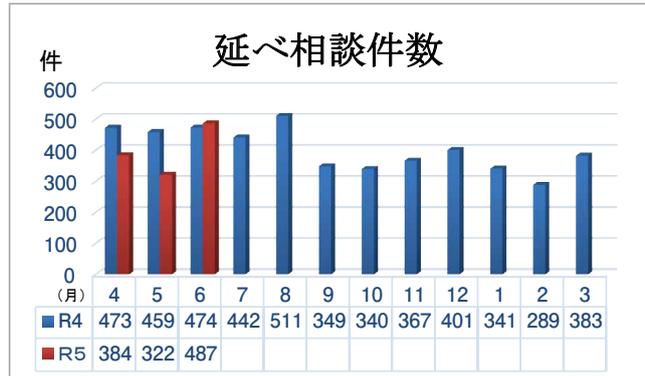
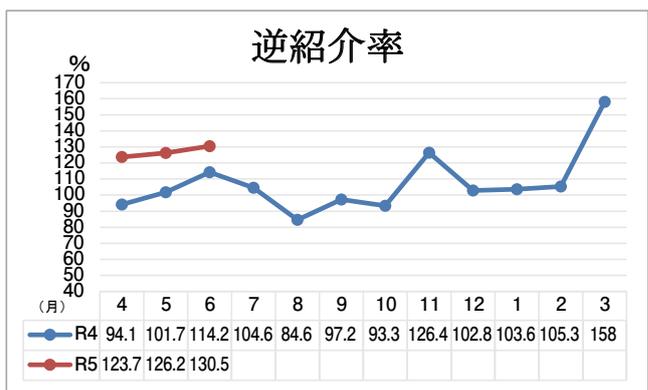
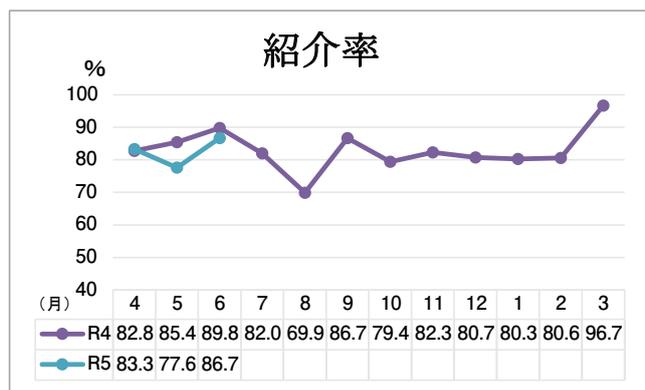
普段から穀類、肉・魚類、野菜・海藻類など色々なものを組み合わせて食べることで、なるべく早めに寝てぐっすり眠ること、などの工夫が必要とされています。

食欲がない時に選ぶメニューの定番として「冷やしそうめん」、「ざるそば」がありますが、材料が炭水化物ばかりに偏りやすいため、こればかりが続くと栄養素の不足が起こる可能性があります。温泉卵をトッピングする、豚のしゃぶしゃぶサラダを組み合わせる等、たんぱく質が不足しないようにしましょう。

また、カレー粉などの香辛料は食欲増進効果もあるので、食欲のない時でも食べやすくなります。色々、試して暑い夏をのりきりしましょう。



地域医療連携室実績報告



外来診療担当医表

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

令和5年8月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	生田 卓也	脇本 旭	脇本 旭	生田 卓也/脇本 旭	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患	
	2診	脇本 旭	生田 卓也	生田 卓也	脇本 旭/生田 卓也	脇本 旭		
	3診	/	広大(循環器)	/	/	/		
内科	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	広大(血液)	再診外来予約制
	2診	消化管・肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	藤堂祐子(消化管)	
	3診	内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	広大(内分泌代謝・糖尿病)	寺元庸/太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	
	4診	血液	広大	角野 萌	/	黒田 芳明	新患担当医(血液)	
	5診	循環器	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	栗栖 智	藤原 仁	
	6診	腎臓/血液	黒田芳明(血液)	平塩秀磨(腎臓)	/	谷 浩樹(腎臓)	平塩秀磨(腎臓)	
脳神経内科	1診	鳥居 剛	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍	檜垣 雅裕 (頭痛)	黒田 龍	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制	
小児科	一般外来	広大	/	/	/	/		
	小児筋ジストロフィー	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	受付13時~16時 予防接種は13時~14時(予約制)	
	重症心身障害	河原信彦・金子陽一郎	河原信彦・金子陽一郎	河原信彦・金子陽一郎	河原信彦・金子陽一郎	河原信彦・金子陽一郎	予約制	
	発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
	小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
神経外来	/	小林(第3)	/	/	/			
補装具		/	/	/	/	/		
外科	初診	石崎 康代	新患担当	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/石崎/米神	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	平田 嘉人			
整形外科	初診	中條 太郎	松村 脩平	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日	
	再診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦		
	再診	(永田義彦/松村脩平)	中條太郎/(根木 宏)	松村脩平/中條太郎	/	中條太郎/(松村脩平)	月曜日()手術	
形成外科		/	藤高 淳平	/	藤高 淳平	藤高 淳平		
泌尿器科	1診	安本 博晃	/	安本 博晃	広大	安本 博晃	火曜日手術日	
	2診	坂本 勇樹	浅野 耕助	浅野 耕助	/	坂本 勇樹	木曜日手術日	
産婦人科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		末岡 愛実	末岡 愛実	/	末岡 愛実	末岡 愛実	水曜日手術日	
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約(CT・MRI含む)は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701